



認定特定非営利活動法人
日本セルプセンター

2019年度 事業報告書



このマークを、覚えてくれたら
うれしいです。



Contents

ご挨拶	2	2019年度実施事業一覧	7
日本セルプセンターとは	3	事業所商品の販売事業	8
ご支援をぜひお願いします	4	共同事業	10
団体概要	5	共同受注窓口連携事業	11
2019年度の振り返り	6	委託・助成事業	12

SELP(セルプ)とは、働く意欲がありながら、
障がいなどの理由により一般の事業所に就職することが
難しい人々のための「就労の場」。
このロゴマークには、
ハンデに負けず、社会的自立を目指す決意が込められています。

Support of **E**mployment, **L**iving and **P**articipation.

このステートメントは、
「就労、社会生活、及び社会参加の支援」という、
社会就労センターの役割を意味しています。

がんばれ、全国の働く障がい者。
私たちはいつも、あなたのそばにいます。

社会福祉法人花工房福祉会 エコーンファミリーの皆さん

調査・研究・研修事業/組織強化/	14	SELP訪問ルポ(ダイジェスト版)	17
全国大会・研修会の開催/		参加施設・事業所の声	20
国際活動 WIJの活動		お客様の声/パートナーの声	21
センター業務	15		
2019年度決算概要	16		

ご挨拶



会長 高江 智和理

日本セルプセンターは、障がい者就労支援施設の経済活動、事業振興と、そこで働く障がい者の所得保障をすすめていくことを目的に2000年に設立されたNPO法人です。設立以来、障がいがありながらも働く意欲をもつ方やすでに働いている方々の「真の社会的・経済的な自立推進」のため、就労支援施設、事業所等の皆さまと「共同事業・ネットワーク」を組み、共同受注、共同生産、販売などさまざまな取り組みをすすめています。

2013年「障害者優先調達推進法」の施行に伴い、中央官庁など官公需への対応も日本セルプセンターの重要な役割となっています。

今では全国500施設を超えるネットワークを活かし施設間連携による共同生産等によって「大量生産・短納期」といったニーズにもフレキシブルに対応する体制を整えています。また、地域性豊かな各種施設オリジナルの製品やサービスもご用意しております。ぜひ一度、皆さまの仕事のパートナーとして日本セルプセンターを活用してみてください。



日本セルフセンターとは

日本セルフセンターは、障がい者の就労と社会生活および社会参加の支援をより積極的に行っていくことを目指した事業振興センターです。



— 共同受注・共同事業 —

共同受注・共同事業により行政、企業、一般の人々と障がい者就労支援施設が様々な連携の機会を持つことができ、そこで生まれる障がいのある人たちの「働く願い」を、日本セルフセンターは社会につないでいきたいと考えています。

- 一施設では小さな生産能力でも、複数の施設が集い共同受注することにより、民間企業に匹敵する生産能力を発揮します。
- SELP自動販売機、資材の共同仕入れ等、様々な共同事業を通じて、障がい者就労支援施設の収入の拡大と事業活動の効率化を提供します。

ご支援をぜひお願いします

私たちの活動はみなさまのご協力によって支えられています

寄付以外にも、さまざまなかたちでのご支援をお待ちしております。

1 お仕事の発注 ーみなさまのビジネスのお手伝いー

お仕事のフロー



安心してご相談ください ー5つの安心ー

- ① 小ロットから大規模な発注まで、あらゆる規模の業務をお受けできます。
- ② 全国規模の「共同事業・ネットワーク」体制で、大量生産・短納期にもお応えできます。
- ③ 各事業所には障がい者をサポートする職員が多数在籍し、共にお客様の業務に取り組む環境を整えています。
- ④ 例えば担い手が少ない作業もいきいきと取り組みます。
- ⑤ 各事業所ではさまざまな仕事やサービスに携わっており、業務実績も豊富でお引き受けできるお仕事は数多くあります。



事務支援	印刷・封入・発送、名刺印刷、データ入力／テープ起こし、議事録作成、オフィス内での事務補助、シュレッダー作業など
製造支援	商品セッティング、ギフト商品、食品などの箱詰、分解・洗浄作業など
販売支援	配膳、ピッキング・発送作業など

清掃・洗浄 建物の日常清掃、屋外清掃、食器洗浄など



多くの企業・団体のみなさまから日本セルフセンターにご発注いただき、その製品やサービスにご満足いただいております。※P21参照

2 さまざまなご協力 ーお仕事の発注以外にもー

例えば事業の共同開発、研修会の講師の派遣、会場の提供、資材の提供等も
私たちの力強い支えになります。ぜひよろしくお願ひいたします。

障がいがありながらも働く意欲をもつ方やすでに働いている方々の
「真の社会的・経済的な自立促進」を目指して

2018年度

就労継続支援B型事業所
平均工賃

月額	時間額
16,118円	214円

詳しくは厚生労働省ホームページ
障がい者の就労支援対策の状況
をご覧ください。



工賃(収入)を継続的に向上させるためには、みなさまのご協力が欠かせません。いただいたお仕事の利益は、働く障がい者の工賃として還元されます。どうか私たちの活動に目をとめていただき、一緒に手を取り合いながら、働く障がい者の未来を支えていけたらと思っております。

働く障がい者の工賃(収入)向上のために。みなさまのご支援をお待ちしております。

ご寄付のお願い

法人、企業、団体はもちろん、個人の方の寄付も大きな支えになります。寄付金により、事務局運営を補助し、商品・サービスの事業所への委託、共同事業の開発・展開、研修会の開催等、障害者就労事業所への各種活動に役立てられます。

※ご寄付は寄付金控除の対象になります

個人 3,000円 から
法人 10,000円 から



団体概要

認定特定非営利活動法人 日本セルプセンター

設立:2000年11月29日 認定特定非営利活動法人の認定:2017年3月17日

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-13-1 大橋御苑駅ビル別館2F

TEL:03-3355-8877 FAX:03-3355-7666

Email:center@selpjapan.net URL:<https://www.selpjapan.net>



		所属/都道府県	2020年3月現在	
【理事】	高江 智和理 寺口 能弘 小池 邦子 益原 忠郁 日下 貴博 田中 秀典 松田 賢雄 黒沼 祐蔵 小林 香 檜山 太一 黒川 亨 竹村 絵里 鈴木 暢 澤田 和秀	社会福祉法人北海道光生舎/北海道 のんびり青山/新潟県 社会福祉法人花工房福祉会/長野県 ハイツふなき/山口県 社会福祉法人旭川春光会/北海道 ハローENJOY/北海道 石上の園/岩手県 山形県リハビリセンター/山形県 わーくる矢吹/福島県 はたらくガツツ村/茨城県 武子希望の家/栃木県 社会福祉法人あげお福祉会/埼玉県 ハートピア湘南/神奈川県 社会福祉法人秀愛会/富山県	田辺 義明 西岡 俊雄 倉田 裕 川崎 昭仁 宮下 哲 大久保 浩 三代 栄史 寺本 賢司 三橋 一巳 松本 保孝 花宮 良治 齊藤 武志 松久保 和俊 小林 克彦	ぴーぱるファン/福井県 守山作業所/愛知県 サンフラワーガーデン/三重県 社会福祉法人ひかり福祉会/滋賀県 社会福祉法人福成会/兵庫県 大和高原太陽の家/奈良県 太陽川辺作業所/和歌山県 邑智園/島根県 社会就労センターかもな/徳島県 ワークセンターゆきぞの/熊本県 ソレイユ/大分県 喜望/宮崎県 知覧育成園/鹿児島県 日本セルプセンター/東京都
【監事】	阿部 裕一	はばたき職業センター/千葉県	野々下 哲也	
【職員】	事務局員6名	日本セルプセンター/東京都	港ワークキャンパス/愛知県	

SUSTAINABLE GOALS



持続可能な開発目標(SDGs)は私たちの活動とつながっています



2019年度の振り返り

2019(令和元年)度の収入額合計は223,581千円となり、前年度比で33.2%増加しました。

事業所商品の販売事業(物品・役務等)においては、出展販売が催事の開催中止等による売上減少となった一方で、民間企業及び中央官公庁等からの調達が拡大し、売上額は143,337千円、前年度比で31.5%増加と、活動目的とする会員施設・事業所における事業振興とそこで働く障害者の工賃向上に資する事業推進を活性化することができました。

一方で最終四半期を襲った新型コロナウイルス感染症の流行は、会員を始めとする障害者就労支援事業所にも影響を及ぼし、事業継続や工賃となる収益事業の獲得が難しくなってきており、この影響は長期化すると予測されることから今後ますます組織一丸となっての取り組みが求められています。

2019年度重点課題における成果等

■ 作業種別部会の連携・共同の強化、更なる事業の推進

7部会で研修会が開催され、参加者間での情報共有が進みました。作業種別部会研修会は非会員の参加も多く、入会目的の主要な要因となっています。また3部会では、全国生活協同組合連合会、全労済の助成を受け、部会役員を中心に積極的な事業推進が行われました。

■ 都道府県共同受注窓口組織との連携・共同による事業の振興

担当者会議の開催、作業案件の仲介・斡旋、催事への招聘、講師派遣等、連携強化を進めました。

■ 東京オリンピック・パラリンピックに向けた事業構築

関係団体及び協賛企業等への取材、営業を行うものの、主催者組織、運営企業との接点を作ることができず、具体的な事業を構築できる活動には至りませんでした。

■ 日本セルフセンターの目的を達成するための事業の構築、組織・財政基盤の強化

財政基盤を強化するため、リーフレットを作成し広く寄付を呼びかけました。



2019年度実施事業一覧

事業名	内容
事業所商品の販売事業	<p>① 出展販売 保育学会の大会を中心に知育玩具等を販売</p> <p>② 通信販売会社等への販売 企業との連携による販売</p> <p>③ 福祉の店、一般店舗への販売 売れ筋商品の把握・情報収集に努め、取引先店舗への提案を実施</p> <p>④ 企業・団体等からの受託推進(民需) 企業・団体等との連携強化を図り、会員施設・事業所等の商品・サービスの拡販に努めた結果、既存顧客の取扱い内容の拡大、新規顧客の継続的な仕事の獲得を実現</p>
共同事業	<p>① SELP自動販売機設置事業 協賛企業と連携し、働く障害者を支援する輪を広げるために設置活動を推進</p> <p>② 国及び地方公共団体等からの受託推進 障害者優先調達推進法に基づく受託の推進 会員施設・事業所を中心に、都道府県受注窓口組織へも斡旋</p> <p>③ クリーニング共同受注事業 会員施設・事業所等の新たな事業として、施設で使用するシーツ・包布等寝具及び利用者の私物クリーニング事業の構築及び施設外就労の斡旋等についてクリーニング部会で検討</p> <p>④ 共同仕入事業 「安全・安心・適正価格」の仕入を目的として、会員施設・事業所等現行購入価格より安価に仕入れた製品の提供</p>
共同受注窓口連携事業	<p>① 登録都道府県共同受注窓口会議の開催（都道府県共同受注窓口ネットワークの構築）</p> <p>② 企業等との連携による新たな事業の開拓・斡旋</p> <p>③ 受発注・情報発信システム（ナイスハートネット都道府県版）導入支援</p> <p>④ 組織・運営・人材育成・事業振興等に資する支援、コンサルティングの実施</p>
委託事業	<p>① 東日本大震災被災地支援事業（福島県授産事業振興会）</p> <p>② 区市町村ネットワークによる共同受注体制の構築事業（東京都）</p> <p>③ 港区共同受注窓口運営業務支援事業（特定非営利活動法人みなと障がい者福祉事業団）</p>
助成事業	<p>① 障害者のはたらくよろこびに製菓を通してコミット!「飛ぶように売れる」商品開発からマーケティングの実践手法の発信（全国生協連）</p> <p>② 印刷を行う障害者就労事業所における支援事業（全国生協連）</p> <p>③ 全国の製パン事業所へ、プロがパン製造販売の真髄を指南（全国生協連）</p> <p>④ 障害者の所得向上を目指す作業受注モデルに関するフォーラムの開催（日本財団）</p>
調査・研究・研修事業	HACCPの考え方を取り入れた菓子製造業における衛生管理計画作成の手引書補助資料の作成
組織強化	<p>① 組織強化</p> <p>② 情報提供(発信)</p>
全国大会・研修会の開催	<p>① 第10回 日本セルプセンター研究大会</p> <p>② 2019年度 全国社会就労センター総合研究大会（徳島大会）※共催</p> <p>③ 2019年度（第36回）全国社会就労センター長研修会 ※共催</p> <p>④ 2019年度全国ナイスハートバザール（国庫事業）※共催</p>
国際活動・WIJの活動	<p>① WIJ理事会への役員派遣(4回)</p> <p>② 国際会議への参加者対応</p>
作業種別部会	木工・クリーニング・農産・食品加工（合同）・製パン・製菓・リサイクルの各部会開催

1 事業所商品の販売事業

全国500を超える会員施設・事業所では、さまざまな製品の製造・開発・販売に日々取り組んでいます。日本セルフセンターは、会員施設・事業所の生産活動の支援と商品の幅広い普及を図るため、次の事業を実施しました。

① 商品の販売

(1) 出展販売

保育学会の大会を中心に知育玩具等を販売しました。夏季の悪天候により開催中止が複数あったこと、また出展ブースの位置が好条件に恵まれず売上は前年度より減少となりましたが、各会場で製品に対する高評価をいただきました。



出展先	開催地
日本保育学会第71回大会	東京都
第58回全国保育問題研究集会くまもと	熊本県
第62回全国私立保育園研究大会熊本市大会	熊本県
第32回保育を高める研究集会(日保協)	愛知県
第60回関東ブロック保育研究大会	埼玉県
第6回九州保育三団体研究大会	鹿児島
TOKYO保育園フェア2019	東京都
2019年度四国ブロック保育研究大会	香川県
自治労第40回全国保育集会	長崎県
第51回全国保育団体合同研究集会	愛知県
R1.公立保育所トップセミナー	千葉県
第49回九州保育団体合同研究集会宮崎集会	宮崎県
第46回国際福祉機器展H.C.R.2019	東京都
第53回全国保育士会研究大会	島根県
R1.全国理事長・所長研修会	茨城県
第63回全国保育研究大会	広島県
サンシャインシティ日立グループ チャリティーコンサート実行委員会 東北復興支援「買って社会貢献!」&チャリティーコンサート販売会	東京都
第33回日保協沖縄県支部理事長・園長職員研修会	沖縄県
第46回全国保育士研修会	神奈川県
第67回宮崎県保育事業研究大会	宮崎県
R1.保育所・認定こども園リーダートップセミナー	神奈川県



(2) 通信販売会社等への販売

企業との連携による販売を実施しました。前年度に比べ取引先企業のカタログ掲載商品が減少したため、次年度以降は情報収集に努めながら、より積極的に取り組んでまいります。

商品内容

- 食品 ■ 木工品 ■ 日用品 ■ ステーショナリー



(3) 福祉の店、一般店舗への卸販売

売れ筋商品の把握・情報収集に努め、取引先店舗への提案を実施しました。

店舗名

- 「元気の輪」
社会福祉法人岡山市社会福祉協議会
- 「コニュミティショップ ふらっと新宿」
公益財団法人新宿区勤労者・仕事支援センター
- 「ふれ愛プラザ」
公益社団法人広島県就労振興センター



(4) 企業・団体等からの受託推進(民需)

企業・団体等との連携を強化するとともに、会員施設・事業所等の商品・サービスの拡販を図り、事業振興に努めました。既存顧客の取扱い内容の拡大、新規顧客の継続的な仕事の獲得により、売上が向上しました。

売上内容

- 軽作業 ■ 軽作業(施設外就労) ■ 清掃
- 印刷 ■ 梱包発送 ■ 焼菓子 ■ 縫製
- 玩具 ■ 記念品



2 共同事業

全国に会員を持つ日本セルプセンターならではのネットワークを活かし
「共同受注・共同生産・販売」などの取り組みを、さまざまなかたちで進めています。

① SELP自動販売機設置事業

(株)ジャパンビバレッジ、(株)伊藤園、ネオス(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)と連携し、働く障害者を支援する輪を広げるために設置活動を推進しました。併せて日本セルプセンター及び地方組織、会員施設・事業所等が事業を円滑に行えるよう経費の一部を確保することにも努めました。

(1) 全国社会就労センター協議会との連携による 働く障害者を支援するための 広告塔(SELPの広報・啓発)としての設置推進

消費税増税に伴う手数料金額の変更によりパンフレットを改訂し、各都道府県組織に配布しました。また、2019年度(第36回)全国社会就労センター長研修会参加者にパンフレットを配布するなどの広報活動を推進しましたが、(株)ジャパンビバレッジの不採算機の撤去や他団体募金型自販機の伸張により、前年度末に対し台数の減少と新規台数の増加減となりました。

ブロック	2019年度末 実台数
北海道	86 台
東北	72 台
関東・甲信越	457 台
東海・北陸	182 台
近畿	138 台
中国・四国	158 台
九州	551 台
合 計	1,644 台

(2) 設置拡大を図るためのキャンペーン活動の実施

「セルプ自販機設置拡大キャンペーン2019」を4月1日から3月31日まで実施し、42台の設置がありました。

SELP自販機



SELP自販機
設置拡大
キャンペーン
2019

第1位は、賞金10万円!

キャンペーン開催中にセルプ自販機の新規設置台数が1位になった施設には賞金10万円!
その他の多くの賞を多めにご用意いたしました。今年度も1台の設置から参加賞がもらえます。

期間: 2019年4月1日～2020年3月31日

SELP自販機設置を挙げて下さい♪

SELP自販機設置を挙げて下さい♪

全国の社会就労センター

セルプ自販機設置拡大キャンペーンに関する注意点

TEL: 03-3058-6677 FAX: 03-3050-7000 E-mail: center@selpcenter.net

② 国及び地方公共団体等からの受託推進

(1) 障害者優先調達推進法に基づく受託の推進

予算の高い新規案件の獲得と既存官公庁の案件の増加、及び10月28日に厚生労働省が中央官公庁を対象に主催した「障害者優先調達情報交換会」が年度後半の案件増につながりました。会員施設・事業所を中心に、都道府県受注窓口組織へも斡旋を実施しました。

(2) 共同仕入事業

「安全・安心・適正価格」の仕入を目的として、会員施設・事業所等現行購入価格より安価に仕入れた製品の提供を行いました。

- | | |
|------------|---------------|
| ■ 日本ハム贈答商品 | ■ 消毒液・除菌アルコール |
| ■ 空間除菌・消火剤 | ■ 名刺台紙 |
| ■ ユニフォーム | ■ フラットファイル |

(3) クリーニング共同受注事業

会員施設・事業所等の新たな事業として、施設で使用するシーツ・包布等寝具及び利用者の私物クリーニング事業の構築及び施設外就労の斡旋等についてクリーニング部会で検討しました。

【物品・役務の品目分類例】

	品目	具体例
物品	① 事務用品・書籍	筆記具・事務用具・用紙・封筒・ゴム印・書籍など
	② 食料品・飲料	パン・弁当・おにぎり・麺類・加工食品・菓子類・飲料・コーヒー・茶・米・野菜・果物など
	③ 小物雑貨	衣服・身の回り品・装身具・食器類・絵画・彫刻・木工品・金工品・刺繍品・陶磁器・ガラス製品・おもちゃ・人形・楽器・各種記念品・清掃用具・防災用品・非常食・花苗など
	④ その他の物品	机・テーブル・椅子・キャビネット・ロッカー・寝具・器物台・プランター・車いす・杖・点字ブロック等上記以外の物品
役務	① 印刷	ポスター・チラシ・リーフレット・報告書・冊子・名刺・封筒などの印刷
	② クリーニング	クリーニング・リネンサプライなど
	③ 清掃・施設管理	清掃・除草作業・施設管理・駐車場管理・自動販売機管理など
	④ 情報処理・テープ起こし	ホームページ作成・プログラミング・データ入力・集計・テープ起こしなど
	⑤ 飲食店等の運営	売店・レストラン・喫茶店など
	⑥ その他のサービス・役務	仕分け・発送・袋詰・包装・梱包・洗浄・解体・印刷物折り・おしほり類折り・筆耕・文書の廃棄(シュレッダー)・資源回収・分別など

3 共同受注窓口連携事業

都道府県の「共同受注窓口」と連携し、事業運営・事業振興・人材育成を図るための支援を行っています。また、官公需・民需の「インターネット受発注システム」普及にも努めています。

都道府県共同受注窓口組織と連携・共同し、事業の構築、推進を図るための取り組みを行いました。

(1) 登録都道府県共同受注窓口会議の開催(都道府県共同受注窓口ネットワークの構築)

第10回日本セルプセンター研究大会において会議を開催し、各都道府県の共同受注窓口業務の現状と課題を共有しました。また、セルプワーキングフォーラムにおける共同受注窓口担当者会議で今後の事業推進について協議しました。

(2) 企業等との連携による新たな事業の開拓、斡旋

秋田県、福島県、神奈川県、静岡県、岡山県の各共同受注窓口と連携し、請負業務の斡旋・仲介等を実施しました。

(3) 受発注、情報発信システム(ナイスハートネット都道府県版)導入支援

既に導入をしている地域に対し、アクセス情報などの活用状況を報告しました。

(4) 組織・運営・人材育成・事業振興等に資する支援、コンサルティングの実施

- ① 研修会への講師(職員)派遣／秋田県社会福祉協議会
- ② 共同受注窓口協議会への職員派遣／長野県セルプセンター協議会
- ③ 「こども霞が関見学デー」農福事業所招聘(一都三県共同受注組織経由)／厚生労働省
- ④ 障害者優先調達情報交換会の通知、集約(関東ブロック内共同受注窓口組織)／厚生労働省

日本セルプセンターでは、障害者就労の支援活動やプロジェクトを開催する各自治体、団体、企業に対して、さまざまな委託・助成を行っています。

4 委託・助成事業

① 委託事業

(1) 東日本大震災被災地支援事業(福島県授産事業振興会)

被災地における障害者就労支援事業所の活動支援を実施しました。

① 商品の製造、開発、販売に係る技術アドバイス

- 「9」プロジェクト(会津木綿を使用した雑貨ブランド)
- 研修会の開催「実践体験から、現場で生かすコツを学ぶ2日間」
- 主力販売会への日本セルプセンター職員派遣



② 首都圏における施設・事業所商品の普及及び販路拡大

障害者就労支援団体、企業と連携して福島県下施設商品の販売、展示を行いました。

- 首相官邸「農福」イベント出展補助／首相官邸
- 福祉医療機器展・東北地支援商品販売(9月25日～27日)
／東京ビッグサイト
- 「農福」販売会補助(11月9日～10日)／港区赤坂総合支所
- 日立プラントサービス・池袋チャリティイベントにおける販売会(12月13日)／サンシャインシティ(東京都豊島区)
- ふくしま大交流フェア販売補助(12月21日)／東京国際フォーラム
- 日本橋ふくしま館 販売会補助(3月7日～3月11日)
／日本橋ふくしま館



③ 軽作業共同受注案件の投入

共同受注ネットワークの構築を支援し、共同受注コーディネート力の育成、物流ハブ施設の設定等を実施しました。



(2) 区市町村ネットワークによる共同受注体制の構築事業(東京都)

- 各区市町村ネットワークにおける機能強化に向けた改善支援
- 共同受注業務に関するコンプライアンス体制の確立
- HP・パブリシティの普及増による都ワンストップ窓口全体の認知度の向上
- 各種会議の開催-各区市共同受注ネットワーク代表者による「ワーキンググループ」と、有識者による「全体会議」を開催しました。

(3) 港区共同受注窓口運営業務支援事業(特定非営利活動法人みなと障がい者福祉事業団)

共同受注機能の拡充を目的に、以下の運営業務を受託しました。

- ① 港区内障害者就労支援事業所等の実態把握調査
- ② 企業および官公庁を対象とした営業ツールの整備
- ③ 共同受注体制を構築するための研修会の実施
- ④ その他、前述に係る付帯業務

② 助成事業

(1) 障害者のはたらくよろこびに製菓を通してコミット! 「飛ぶように売れる」商品開発からマーケティングの 実践手法の発信(全国生協連)

- 主催：製菓部会
- 期間：4月～11月
- 対象事業所：真壁授産学園(茨城県)
- 内容：対象事業所を選定し、講師によるコンサルティングを行い事業を実施しました。汎用性の高い取り組みであるため、多くの就労支援施設で実践可能な内容であり、製菓部会研修会にて報告共有を行いました。



(2) 印刷を行う障害者就労事業所における印刷業を営む上で必要な知識を習得するための支援事業(全国生協連)

- 主催：印刷部会
- 期間：9月24日～25日
- 研修会場：公益社団法人日本印刷技術協会(JAGAT)
セミナールーム(東京都杉並区)
- 内容：印刷産業の現況について解説すると共に、それを受け各障害者就労支援事業所が今後どのように事業展開するのかを模索し、自社の向かうべき方向性について考える研修会を行いました。
1. 印刷市場の最新動向 印刷ビジネスを取り巻く環境と今後の可能性について解説。
2. 優先調達推進法関連を含む現状の受注状況の情報交換会
3. 「強み」発掘と自社PRによる新規受注獲得の方法(実践演習)



(3) 「全国の製パン事業所へ、プロがパン製造販売の真髄を指南」(全国生協連)

- 主催：製パン部会
- 期間：5月～12月
- 対象事業所：社会就労センターかもな(徳島県)
- 内容：プロの指導や研修機会の少ない事業所が多く、職員の異動や利用者の技術力アップ、販売ノウハウがない等の共通課題を抱えている中、製パン技術の向上とともに、職員の負担を軽減し、合理的な技法や作業工程、販売スキルを獲得できるよう、パン工房・店舗での直接指導を行い、製パン部会加盟事業所で共有しました。



(4) 障害者の所得向上を目指す作業受注モデルに関するフォーラムの開催(日本財団)

障害福祉サービス事業(就労継続支援B型)を利用する障害者の所得向上を目指すため、フォーラムを開催し、受注モデル事業について以下のマッチング業務を行いました。

① フォーラムの開催

「就労支援フォーラムNIPPON特別企画セルプワーキング」

時 期：9月12日

場 所：品川インターナショナルホール＆会議室(東京都港区)

対 象：障害者就労支援事業所 管理者等

参 加 者：212名

内 容：フォーラム、パネルディスカッション、受注モデル事業の発表、モデル事業への参加者募集



② モデル事業実施に向けたヒアリングおよび業務マッチング

時 期：10月～3月

対 象：フォーラムにて募集した31事業所

日本セルフセンターは、「調査・研究・研修」「組織強化」「全国大会・研修会の開催」「国際活動 WIJの活動」にも積極的に取り組んでいます。

5 調査・研究・研修事業

- HACCPの考え方を取り入れた菓子製造業における衛生管理計画作成の手引書補助資料の作成
製菓部会協力の下、全日本菓子協会／全国菓子工業組合連合会／全国和菓子協会／一般社団法人日本洋菓子協会連合会／協同組合 全日本洋菓子工業会作成の手引書をわかりやすく文書化した補助資料を作成しました。

6 組織強化

① 組織強化

(1) 会員の加入促進

2018年度末504会員に対し、新規加入21、退会が17、統合・廃止が1で、2019年度末会員は507(3会員増)となりました。その他、賛助会員1、特別会員2でした。

(2) 財政基盤の確立・強化

「寄付募集リーフレット(ご支援ください 働く障がい者のために)」を作成し、理事を中心

に寄付募集に取り組みました。

(3) 認定NPOの継続

(PST要件のための
寄付3,000円×100人以上)

寄付者:125人

寄付金額:2,044,268円

② 情報提供(発信)

(1) 情報紙(センター情報)の発行

会員、関係団体及び外部向けに
事業内容・取り組み状況等を掲
載し、発行しました(第39号)。

(2) 情報の発信・共有

- 情報メールの発信(月2回)
- メーリングリストによる情報の発信・共有
- SEL P訪問ルポのホームページ
掲載(月1回)(17~19ページに掲載)

(3) SEL Pロゴ使用承認事業(製品)

セルフセンター情報第39号及び
ホームページにおいて申請の案
内を行いました。

7 全国大会・研修会の開催

① 第10回

日本セルフセンター 研究大会

開催日：6月13日～14日
場 所：中野サンプラザ(東京都)

② 2019年度

全国社会就労センター 総合研究大会(徳島大会) ※共催

開催日：7月4日～5日
場 所：JRホテルクレメント徳島(徳島県)

③ 2019年度(第36回)

全国社会就労センター長 研修会 ※共催

開催日：2月27日～28日
場 所：川崎日航ホテル(神奈川県川崎市)

④ 2019年度全国ナイスハートバザール(国庫事業) ※共催

(1) 全国ナイスハートバザール2019 in みえ

開催日：2月19日～23日
場 所：イオンモール津南(三重県津市)

(2) 全国ナイスハートバザール2019 in 鹿児島

開催日：2月27日～3月1日
場 所：山形屋(鹿児島県鹿児島市)

8 国際活動 WIJの活動

ワーカビリティ・インターナショナル・ジャパン(WIJ)の活動に参画するとともに、事務局業務を分担した。また、ワーカビリティ・インターナショナル(WI)、ワーカビリティ・アジア(WAsia)に加盟し、障害者の就労問題に関し国際的な場面での活動を推進しました。

① WIJ理事会への役員派遣(4回)

開催日：5月10日、8月9日、11月19日、2月6日

② 国際会議への 参加者対応

(1) WI会議2019 in アナハイム

開催日：5月20日～22日
場 所：アナハイム・マリオット
(アメリカ、カリフォルニア州、アナハイム)

(2) WAsia会議2019 in マカオ

開催日：7月20日～21日、22日(スタディ・ツアー)
場 所：スタジオシティ・マカオ
(中華人民共和国マカオ特別行政区)

9 センター業務

① 総会の開催

【第40回】 開催日：6月14日
場 所：中野サンプラザ(東京都)

【第41回】 開催日：2月28日
場 所：川崎日航ホテル(神奈川県)

② 理事会の開催

【第1回】 開催日：6月12日
場 所：全社協会議室(東京都)

【第3回】 開催日：11月20日
場 所：全日通霞が関ビル(東京都)

【第2回】 開催日：6月14日
場 所：中野サンプラザ(東京都)

【第4回】 開催日：2月26日
場 所：川崎日航ホテル(神奈川県)

③ 常任理事会の開催(9回)

④ 作業種別部会

(1) 作業種別部会 開催日：6月13日 場 所：中野サンプラザ(東京都)

(2) 研修会

部会	開催日	場所	内容
木工	10月17日～18日	(福)泉会(東京都)	■見学 ■講演 ・就労日の出舎の工賃向上への取り組み ・知育玩具の開発と営業の取り組みについて ・製品の原価計算方法と、市場動向 ■発表 ・製品における原価計算
クリーニング	10月7日～8日	(株)渡辺リネン新潟工場、(福)新潟中央福祉会、駅南貸会議室KENTO(新潟県)	■見学 ■講演 ・株式会社渡辺リネン新潟工場 ・地域生活サポートセンターミナと/ワークセンター日和山 ■提案/意見交換 ・クリーニング共同受注事業の実現に向けて
農産・食品加工(合同)	7月18日～19日	(福)草笛の会(静岡県) 京丸園(株)(静岡県)	■見学 ・(福)草笛の会 ブルーベリー農園、駿河軍鶏養鶏場、果樹園 ・京丸園(株) ・(福)復泉会 KURUMIX(農福・地域連携先進事例)
製パン	1月30日～31日	カネカ食品株式会社本社(東京都) NATULUCK飯田橋東口 駅前店 中会議室(東京都)	■実演 ・複数の生地の製法 ■実技 ・製法の違うパンについて ■美食 ・食パン、ハード系パン、惣菜パン
製菓	2月7日～8日	京都市だいご学園、ワークセンターHalle!、ラ・キャリエール(京都府)	■見学 ・京都市だいご学園 ・ワークセンターHalle! ■ディスカッション ・HACCP小規模事業所(製菓版)の手引書について ～2021年6月HACCP義務化!HACCP準備のA to Z!～ ■実演講習会 ・ポルボローネ、バーチ・ディ・ダーマ、クロッカン ■グループワーク ・職員のまなざしを革新し、その潜在的創造性でブランドを創る ～体感!創発型ワークショップを通じたブランド構築の世界～
リサイクル	11月28日～29日	(福)希望の家(栃木県)	■見学 ・パチンコ台解体現場、ビデオテープ解体現場、武子地区他の作業 ■講話 ・生産計画と品質管理について、作業環境改善(5S)について

⑤ 関係団体への協力等

(1) 後援

イベント名	主催
第21回彩の国セルプまつり	(一社)埼玉県セルプセンター協議会
関東社会就労センター協議会研究大会2019in ぐんま	関東社会就労センター協議会 / (一社)群馬県社会就労センター協議会
2019年度九州社会就労センター(セルプ)研究大会(宮崎大会)	九州社会福祉協議会連合会 九州社会就労センター協議会 (福)宮崎県社会福祉協議会 宮崎県社会就労センター協議会
きょうされん第42回全国大会 in あいち	きょうされん
神戸スウィーツ・コンソーシアム チャレンジド・プログラムvol.12	(福)プロップ・ステーション 日清製粉(株)
GCグランドフェスティバル2019	GCグランドフェスティバル実行委員会 / (NPO)日本バリアフリー協会
工賃向上スタンダード研修	(福)全国社会福祉協議会・全国社会就労センター協議会

(2) 役員派遣

イベント名	主催
第21回彩の国セルプまつり オープニングセレモニー	(一社)埼玉県セルプセンター協議会
神戸スウィーツ・コンソーシアム チャレンジド・プログラムvol.12開講式	(福)プロップ・ステーション 日清製粉(株)
2019年度九州社会就労センター(セルプ)研究大会(宮崎大会) 開会式	九州社会福祉協議会連合会 九州社会就労センター協議会 (福)宮崎県社会福祉協議会 宮崎県社会就労センター協議会

(3) 「就労支援フォーラムNIPPON2019」の協働企画

開催日：12月14日、15日
場 所：ベルサール新宿グランド
企画分科会：「工賃向上を支える共同受注窓口機能とは」

活動計算書

2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）

(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
I 経常収益			
1 会費収入	22,302,000	19,558,000	△ 2,744,000
2 事業収入	115,900,000	144,775,960	28,875,960
3 委託金収入	41,034,000	41,034,073	73
4 助成金収入	8,980,000	8,532,000	△ 448,000
5 参加費収入	4,570,000	4,639,500	69,500
6 寄付金収入	1,000,000	2,044,268	1,044,268
7 雑収入	3,220,000	2,997,576	△ 222,424
経常収益計	197,006,000	223,581,377	26,575,377
II 経常費用			
1 事業費	153,383,000	169,557,731	16,174,731
人件費	33,418,000	32,471,477	△ 946,523
その他経費	119,965,000	137,086,254	17,121,254
2 管理費	31,377,000	28,496,203	△ 2,880,797
人件費	12,684,000	12,816,436	132,436
その他経費	18,693,000	15,679,767	△ 3,013,233
経常費用計	184,760,000	198,053,934	13,293,934
当期経常増減額	12,246,000	25,527,443	13,281,443
法人税住民税及び事業税	0	1,726,600	1,726,600
当期正味財産増減額	12,246,000	23,800,843	11,554,843
前期繰越正味財産額	134,527,206	134,527,206	0
次期繰越正味財産額	146,773,206	158,328,049	11,554,843

貸借対照表

2019年度（2020年3月31日現在）

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		1 流動負債	
現金	80,728	未払金	14,546,229
普通預金	41,909,328	前受金	4,500,000
郵便振替貯金	19,271,647	預り金	682,607
受取手形	3,030,500	未払法人税等	1,726,600
未収金	33,018,370	未払消費税等	3,305,700
前払金	55,363	流動負債合計	24,761,136
商品	1,172,777		
流動資産合計	98,538,713	2 固定負債	
2 固定資産		固定負債合計	0
敷金	3,850,472	負債合計	24,761,136
保証金	700,000		
定期預金	80,000,000	III 正味財産の部	
固定資産合計	84,550,472	前期繰越正味財産	134,527,206
資産合計	183,089,185	当期正味財産増加額	23,800,843
		正味財産合計	158,328,049
		負債及び正味財産合計	183,089,185

SELPO訪問ルポ（ダイジェスト版）

障害者の自立をめざして活動をおこなっている社会就労センターや就労系支援事業所ではどのような事業が営まれ、どのような製品が作られているのでしょうか。ユニークな取り組みや働く人たちの姿をご紹介します。



社会福祉法人 ゆたか福祉会 ワークセンター フレンズ星崎 (愛知県名古屋市)

DM発送業務に特化することで、 高い月額平均工賃を実現

職員の皆さんのが心がけていることは、利用者が働きやすい職場作りを徹底すること。作業現場は利用者にわかりやすく仕事をしてもらうための工夫が散りばめられています。また、作業工程を分解・グループ分けし仕事を割り振ることで作業効率を高めています。下請け作業が中心だった時から比較すると、DM発送代行業務に特化したことでも月額平均工賃は50,000円を超え、3倍以上の工賃アップを果たした事業所として全国からも注目されています。



社会福祉法人 京都梅花園 あんびしゃ (京都府城陽市)

新体系移行を機に、 新しい施設に生まれ変わる

2006年の新体系移行後は、就職や地域移行に向けた「訓練の場」であるとともに、長期でも短期でも利用できる「住まいの提供」を行うという、利用者の個別ニーズに合った対応をめざした新しい入所施設の在り方を模索しています。現在の作業主体は、オフセット印刷・製袋(ポリ袋製造)・リネン(洗濯物のたたみ等)。40名定員の入所施設という現在の資産を活かし、今後どのような福祉サービスが展開できるのか、ますます期待が高まっています。

社会福祉法人 維雅幸育会 びいはいぶ (三重県伊賀市)

施設外就労を中心に据え、 高工賃・一般就労・定着支援を続ける

大手一流企業と契約し、複数の利用者と職員がユニットを組み施設外就労の製造ラインを任せています。一般的に施設外就労は利用者6人につき職員が1人づく6:1の支援が普通ですが、びいはいぶでは3:1の手厚い支援を行い、利用者たちの能力を最大限に引き出することで作業能力も向上。今では各企業から全幅の信頼を勝ち取っています。また、月額平均工賃は約70,000円は全国でもトップクラス。「高賃金・一般就労・定着支援」を実現している注目の事業所です。



社会福祉法人 まいづる福祉会 ワークショップほのぼの屋 (京都府舞鶴市)

舞鶴湾が見渡せる フランス料理店を運営

レストランは繁盛店ゆえに仕事は多岐にわたりますが、体調が優れないときにはいつでも畳で休める休憩スペースも完備。そのため利用者たちの出勤率も非常に高く、施設全体の月額平均工賃は46,000円を超えてています。他にも宿泊施設の運営、舞鶴赤レンガパークのメンテナンス、舞鶴市リサイクルプラザでのプラスチック選別、舞鶴市民新聞の配達・集金など、バラエティ豊かな職場も用意。利用者は自分に適した仕事を選択できる理想的な環境です。

SELFP訪問ルポ（ダイジェスト版）

各施設の「概要・取り組み・働く人たちの姿」の完全版はこちら
<https://www.seljpjapan.net/report/>



社会福祉法人 福井県セルプ セルプうらら (福井県福井市)

地域社会とのつながりを模索

販売会の企画運営から商談会の開催まで、幅広い活動で知られる福井県セルプ。2013年からは「セルプうらら」を独自に運営し、利用者ニーズに特化した受託作業のほか施設外就労も行っています。目指すのは、障がいのある人たちが町の中で普通に働く社会づくり。そのためには、彼らがいかに「労働力として可能性に満ちているか」を地域社会に示していく必要があり、さまざまな事業を展開しながらも常にその可能性を模索し続けています。



NPO法人 結の会 ゆいの里 (愛媛県宇和島市)

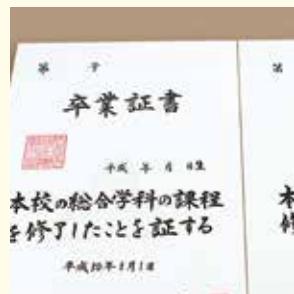
自ら栽培するヨモギを使って さまざまな商品を生み出す

最大の特色は栽培から手がけるよもぎ事業。除草剤などの農薬は一切使用せず無農薬に近い栽培法です。14か所に分散する畑で育て、収穫から加工まで一貫して自分たちの施設内で行っています。主力商品は入浴パックや乾燥よもぎ、よもぎ餅など。香りが良く、国産の安心安全なよもぎから作られる商品は年々需要が高まっているそうです。その他にも、自給自足の商品づくりへのこだわりが自慢の商品や特産のみかん果汁を使ったゼリー販売も絶好調です。

社会福祉法人 信貴福祉会 つくしんぼ作業所 (大阪府八尾市)

給食サービスで50,000円を超える 高工賃を実現

現在は法人内給食受託をメインにしながらも、一般企業や団体を対象とした仕出し弁当の製造販売にも意欲的なつくしんぼ作業所。自分たちで育てた地元野菜をふんだんに使った手づくりの味はとても好評で、交流会や会議などの昼食弁当として高い人気を誇っているそうです。こだわっているのは、モノを作りて売るのではなく、給食づくりというサービスを提供すること。現在の月額平均工賃は約50,000円。施設開設時の20,000円から毎年着実に上昇し続けています。



社会福祉法人 伊方福祉会 ワークいかた (愛媛県伊方町)

自家製造する和紙を使った 賞状印刷など特殊印刷も得意

主力事業は自生するつわぶきの採取から行う和紙づくり。つわぶき和紙はハガキや便せんなどの自主製品として販売するほか、伊方町内のすべての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の卒業証書の用紙として採用され、その印刷まで請け負っています。独特の風合いが高級感を醸し出していて、とても好評だそうです。また、手作業の製本工程を必要とする特殊な案件も積極的に受注することで、月額平均約33,500円の高工賃を実現しています。



社会福祉法人 萌友会 コリアンダーの家 (長崎県長崎市)

四季を通じて、自然や地域住民とのふれあいを大切にする

中心となる作業内容は陶芸とハーブ栽培、ハーブ関連製品の製造販売。施設名にはコリアンダーの強烈な個性を利用者になぞらえ、しっかりと支援することで個性豊かな彼らを社会参加できるように導きたい、そんな願いが込められています。また、清掃などの施設外就労で高工賃を実現しています。目指しているのは、たとえ小さな規模のままでも本当に困っている人たちを地域の中で受け入れ、地域の人たちが支えるシステムづくりです。



社会福祉法人 湘南学園 れもん会社 (滋賀県大津市)

事業活動を通じて 「やさしさ、勇気」をクリエイトする

障がいのある人たちが地域で自立して暮らし、働くことのできる社会をめざすために設立したれもん会社の事業コンセプトは、「やさしさ、勇気」をクリエイト。ものつくり班では、保育士の資格を持つ職員のアイデアを活かした木工玩具類、可愛い刺しゅうをあしらったふきんや袋類、ポーチ等の各種グッズを製作。クッキー班では、吟味した素材にこだわったクッキー・ラスク・ケーキを製造。地域企業からの依頼で生まれた商品群も好評です。

社会福祉法人 飛翔会 ワーキングヒルズ (長崎県大村市)

おこさまランチ専門店 「KINOBUTA」で勝負を賭ける

2018年に大村ボートレース場内におこさまランチ専門店レストラン「KINOBUTA」をオープン。一般市場をターゲットとした本格的な飲食事業へ参入しました。メニューはもちろん、子どもが好きなものばかり。幼児向けには、食品アレルギーにも対応した離乳食も用意。地元大村の新鮮な食材を中心にワーキングヒルズの農園班が栽培した米・椎茸・野菜類もふんだんに使い、手づくりにこだわっています。土日の親子イベントがある時などは、店内は大盛況です。



社会福祉法人 めぶき福祉会 多機能型事業所さくら (滋賀県大津市)

利用者の働く意欲にこだわり、 その可能性を信じる

事業所さくらが重要視しているのは、利用者たち自らが「働きたい」という気持ちをもってもらうこと。利用者一人ひとりに寄り添って、仕事へのモチベーションを探してあげることです。陶芸、クッキー製造、部品加工、清掃作業等の月額平均工賃は36,000円を超え、この高工賃が実現できているのは、施設外就労の仕事をしっかり取れているからでもあります。彼らの働く意欲にこだわりながら、その可能性を信じる取り組みを日々進めています。

参加施設・事業所の声



社会福祉法人
ひばりハートピア湘南
所長
鈴木 暉 さん

「作業種別部会ネットワーク」のチカラで、事業所活動を活性化。

ハートピア湘南では、障がいのある人たちが少しでも高い工賃を稼げるような事業運営にこだわり続けています。そのため、クリーニング部会43事業所のネットワークを活用して事業所毎の好事例を積極的に取り入れています。例えばクリーニング部会の研修会で学んだちょっとした工夫や、見学先で触発された異業種のシステムを自分たち流にアレンジし作業工程に導入するなどを行いながら労働環境・作業効率の向上に努めています。さらには高齢者施設における「私物クリーニング」の需要の開拓などの課題も含め、ハートピア湘南の事業をより活性化するためにも、日本セルフセンターのネットワークをこれからも活用し続けていきたいと思っております。



社会福祉法人
熊本県手をつなぐ育成会
熊本こすもす園

日本セルフセンターのサポートで販路が拡大。

2015年に日本セルフセンターの方が熊本での販売会で私たちの「手袋シアター」を見つけてくれたことがきっかけとなり、販売会の度に日本セルフセンターから500個単位での発注がいただけるようになりました。おかげさまで「手袋シアター」の大ヒットによって、売上は年々増加。以前は1万円にも満たなかった月額工賃が2万円を超すまでに上昇したのも、日本セルフセンターのサポートで販路が拡大できたからです。アドバイスもたびたびいただいて製品そのものもどんどんブラッシュアップできましたし、全国の保育士さんの意見が直接いただけるのでとても有難いです。今後も活発な意見交換をしながら、新商品の開発にもチャレンジしたいと思っています。



一般社団法人
愛知県セルフセンター
事務局長
森脇 康一 さん

セルフ自販機の手数料収入が活動の資源になっています。

一般社団法人愛知県セルフセンターでは、セルフ自販機設置促進活動を積極的に展開しています。会員施設や福祉施設、その関連企業に営業し、現在92台の設置に成功しています。愛知県セルフセンターでは毎年度、感謝伝達と導入促進のため、売上本数上位3位を表彰してきました。手数料収入は、年間100万円以上にもなり、共同受注・共同販売、その他事業振興のため、貴重な活動財源として有効に活用されています。



日本セルフセンター会員募集

事業拡大・販路拡大をお考えなら、私たちと一緒に活動してみませんか？

主な会員は全国の障害者就労系事業所です。

日本セルフセンターの会員は、原則として法人の目的に賛同する幅広い個人・団体によって構成されています。

会員には、正会員・賛助会員・特別会員があります。

■会員施設・事業所の事業の拡大、SELP商品の販路拡大等事業振興の支援が受けられます。

■日本セルフセンター主催の全国大会、研修会等に会員価格で参加できるほか、ナイスハートネット、作業種別部会活動に参加できます。



お客様の声



一般財団法人
東京マラソン財団
経営企画室長
酒井 謙介 さん

コース沿道に掲出した大会フラッグをトートバッグにアップサイクル！

大会開催におけるサステナビリティの観点から、当財団が主催するイベントのコース沿道を彩った大会フラッグを廃棄することなく「トートバッグ」にアップサイクルして販売しました。バッグの制作は障がい者への就労支援の観点から、日本セルプセンターに相談し縫製作業が可能な都内の事業所にご対応いただきました。販売した商品は全て完売。お買い上げいただいた方だけでなく、製造に携わった事業所の方々にもお喜びいただきました。また、収益の一部を東京善意銀行(社会福祉法人東京都社会福祉協議会)に寄付いたしました。



戸田建設株式会社
ダイバーシティ推進室長
越智 貴枝 さん

日本セルプセンターのネットワークと熱意で、入手困難だったマスクを製造できました。

コロナ拡大によりマスク入手が困難であった3月、急遽「障がいのある方が作るマスクを社員に配付できないか」と声がかかり、南は沖縄から北は北海道まで会員がいる日本セルプセンターをHPで見つけ、連絡しました。こちらの話を丁寧に聞いてくださり、要望に合ったサンプルを提示。担当者の「ぜひともやり遂げたい」という熱意が伝わってきました。作成されたマスクと同型のものは某官庁でも採用されたとか。品質、縫製、全てにおいて水準を満たしていることは言うまでもありません。今でも配付したマスクを社員が愛用しているのを見ると自分事のように嬉しく思います。当社はこれからもSDGsの「誰一人取り残さない」にそった活動を展開されている日本セルプセンターと共に社会貢献の機会を拓げていきたいと考えています。



日本リユースシステム株式会社
エコ得スッキリ・ライフサービス事業部
部長
今野 優子 さん

「古着deワクチン」専用回収キットの製造にご協力いただいています。

「古着deワクチン」という、ご購入いただいた専用回収キットに不要な衣類等を詰めて送るとお部屋が片づくだけでなく、開発途上国で再利用され、世界の子どもにワクチンを贈ることができるサービスを展開しています。キットは福祉事業所で製造いただいており、事業所のご協力なくしては成り立ちませんので、大変感謝しています。ここ数年利用者が増えており、日本セルプセンターに新たな製造事業所をご紹介いただいている。最近では、事業所のお仕事になるという点に魅力を感じてご利用いただくことも増えています。「古着deワクチン」をもっと多くの方にご利用いただき、より多くの事業所のみなさんに関わっていただければと思っています。



ボリオワクチンを贈ることができます



株式会社生活品質科学研究所
商品開発サポート本部
食品開発部 食品開発グループ
高田 かおり さん

安全・安心な商品づくりを目指してこれからも積極的に連携していきます。

施設商品との出会いは、1994年にダイエー6店舗で、ナイスハートバザールを開催した頃に遡ります。それから26年、障害者就労支援施設製品はバザーだけでなく、一般店舗でも目にするようになりました。皆さんより良い商品を作ろうと日々頑張っていますが、一方で関連法規が目まぐるしく変わることもあり、より安全・安心な商品づくりには私たちのような専門家のサポートが必要だと感じています。そこで弊社では日本セルプセンターと連携して、商品づくりに必要なコンプライアンスセミナー等を継続して実施しております。初めは皆さん「コンプライアンス」という言葉になじみがなかったようですが、今ではかなり浸透してきたように感じます。これからも障がい者の経済的自立の支援策として協力関係を深めていきたいと思います。



パートナーの声



SELIP
Support of
Employment,
Living and
Participation

認定特定非営利活動法人
日本セルプセンター

〒160-0022

東京都新宿区新宿1-13-1 大橋御苑駅ビル別館2F

TEL:03-3355-8877 FAX:03-3355-7666

Email:center@selpjapan.net

URL:<https://www.selpjapan.net>



発行日:2020年12月

この冊子は日本セルプセンターの会員事業所で印刷されています。